

# 政策・提言力で議会をリード

日本共産党 市議会議員

## いわむろ年治



# みなさんの願い実現へ、市議会でも提案します

### ■プロフィール 岩室としはる■

1990年初当選以来、市議8期目。副議長、監査委員、議会運営委員会委員長、総務・教育の両常任委員会委員長、議会改革協議会会長など歴任。現在は教育民生常任委員会委員長、基地対策特別委員会、議会運営委員会所属。住所＝逗子市逗子5丁目

### 一緒に実現しましょう

- 小児医療費助成の所得制限をなくす
- 学校給食の無償化
- 国民健康保険料の軽減、18歳以下の均等割り廃止
- 逗子・葉山地域に保健所の設置を
- 高齢者の補聴器購入への助成
- 高齢者の京急ふれあいパス購入助成

党逗子市議団の情報はこちら



●財源対策は  
財政調整基金とコロナ基金を確保し、有効な活用で、くらしと営業を守る取り組みを提案。



●コロナ対策で  
逗子市長に申し入れ  
接種会場・スマイルへのシャトルバスの運行は、市内全域にルート拡大するよう要望。県と連携し後遺症の実態調査と相談窓口の設置を。

- 崩落危険がある崖や斜面緑地の防災対策強化
- 池子の医療保健センターへの進入路早期返還

コロナ対策に力を入れ  
いのち・くらしを守る

いま、新型コロナウイルスから市民のいのち、くらしを守ることが最優先されなければなりません。PCR検査の拡充、ワクチン接種の迅速化など国に求めるとともに、市に対しても後遺症の実態調査などを求めています。  
みなさんにお願した市民アンケートには、くらし、福祉、教育、まちづくりなど市政への願いがたくさん寄せられました。私は、みなさんからの声を市政・市議会に届け、その実現のために力をつくします。  
今だからこそ、市民・行政・議会が力をあわせて、さまざまな問題を乗り越えていくことが必要だと思っています。みなさんと一緒に逗子市政を前にすすめていきます。

つねに市政をチェック、願い実現へねばり強くとりくむ

### いわむろ年治議員

■前市長が背を向けた高齢者の入浴券、小中学生の市営プール券復活も、桐ヶ谷市政のもとの、いわむろ議員の提案・議論が力になりました。深夜花火禁止条例、歩行喫煙防止条例など他党派とも共同提案し、実現に力を尽くしています。

■毎月第2日曜日、池子全面返還を要求する「池子定例デモ」を、ねばり強く続けて48年、580回を数えました。

■市議会の定例会ごとに党逗子市議団発行の「逗子民報」を発行。みなさんに市政報告を欠かしません。

■いわむろ年治議員は「市民の声を市政に届け、実現に力をつくす」「議員は行政をチェックし、監視していくことにある」という立場で議会活動。「いわむろ議員の質問内容は理路整然とし、非常にしっかりしています。よく勉強されている」一市当局の声です。

■小児医療費助成拡充の提案にたいし前市長が廃案にしましたが、いわむろ議員はその後もあきらめずに提案し、実現を迫った結果、中学3年生まで拡大することにつながりました。

2022年3月 日本共産党の政策を紹介します。



日本共産党逗子市委員会  
事務所 沼間2-15-4 ☎871-1321

3月27日  
逗子の政治戦

日本共産党